

検査実施喚起DB

■ 概要

- ・使用中に検査が必要な医療用医薬品の、検査の実施時期や検査項目などを記載したデータベースです。
- ・医薬品の使用時に必要な検査に関する情報を取得できるため、医薬品の適正な使用のための参考情報としてご利用いただけます。

■ 特徴・機能

- ・医薬品の使用前・中・後に実施が必要な検査の情報を保持しています。
- ・想定される具体的な検査項目、検査時期、検査実施コメントのデータを保持しています。
- ・添付文書「警告」欄に記載がある検査を抽出可能なフラグを保持しています。

■ 目的・利用場面

- ・医療機関システムにおいて、適切に検査が実施されているか否かのチェックにご利用いただけます。
- ・検査に関わる情報の提供、検査値に着目した処方薬チェック、検査値に基づく服薬フォローアップなど服薬指導支援にご利用いただけます。
- ・添付文書で定期的に検査の実施を求められている医薬品や、「警告」欄に記載がある医薬品の抽出にご利用いただけます。

■ データ例

『ブラビックス25mg』の添付文書（抜粋）

【重要な基本的注意】

血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）、無顆粒球症、重篤な肝障害等の重大な副作用が発現することがあるので、投与開始後2ヵ月間は、2週間に1回程度の血液検査等の実施を考慮すること。

『ブラビックス25mg』のデータ（概略）

検査項目グループ名	肝機能検査（全般）
検査実施間隔	投与開始後2ヵ月間は2週間に1回
適用期間_開始*	0
適用期間_終了*	60
検査間隔_最短**	14
検査間隔_最長**	14

* 適用期間_開始/終了：検査の実施を考慮する期間の開始日/終了日

** 検査間隔_最短/最長：検査を繰り返す最短/最長日数

■ システム、Web等での表示例

『プラビックス錠25mg』の使用開始2週間後のデータ（概略）

検査を実施する必要があります。

経過日数 14日



注意

肝機能検査（全般）

AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GTP、アルブミン(Alb)
…(以下略)

検査実施間隔

投与開始後2カ月間は2週間に1回

検査実施コメント

重篤な肝障害等の重大な副作用が発現することがあるので、投与開始後2カ月間は、2週間に1回程度の血液検査等の実施を考慮すること。